



コミセンレポ — コミセン、和白5校区などの注目情報です —

公民館で来年1月、成人を祝う会を開催

受け継がれる地域への思い！

新成人を、小学校時代の仲間とともに祝う催しが、和白東公民館で開催されています。今回で5回目を迎え、毎年成人の日(2017年は1月9日)に行われる「成人を祝う会」について聞いてきました。同会は4年前、和白東小学校の卒業生が、地元で同級生と成人を祝う場をつくりたい要望から生まれました。青少年育成連合会を中心に町内会長や自治協議会、新成人から選出された実行委員が、成人を祝う

会の内容を考えて、決定します。

同会は小学校時代の担任や校長、地域の方も参加します。市外や県外に進学、就職した新成人と久しぶりに再会し、先生方から直接、お祝いの言葉やメッセージが送られます。最後に全員での記念撮影があり、写真は記念品として贈呈されます。2017年から奈多校区でも、校区の成人を祝う会が行われるとのこと。若者たちが、かつて過ごしたふるさとで、仲間とともに地域の良さやつながりを確認し、受け継ぐ機会となっています。



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

wajico ^[ワジコ] vol. 15 2016 Winter

pick
up

わじろじまん 三苦の農家を支えた“イチゴ”

わじろ元気印 バレーボールチーム「オレンジ」



コミセン活用術 — 私たちの施設を使って、もっと身近に —

さまざまな活動ができる和室をご活用ください。

「畳」の上で活動しませんか。

コミセンわじろの「和室」。2つの部屋があり、広さはどちらも8畳、定員は各10名ずつ。第1和室は水屋が完備され、茶道具の貸し出しもOK。どちらの和室にも姿見があるので、5階多目的ホールの発表会の控室、更衣室利用でも使われています。実はこの和室、料金がリーズナブルなのです。例えば第2和室の利用は、午前中(9:00~12:00)利用であれば、200円！1日利用しても800円です。予約が入っていなければ、当日でも利用することができます。

使い方もさまざまです。少人数の会議利用、活動利用の他にも、例えば畳の上で着付け、将棋、囲碁、華道の利用も。お手玉やかたる、百人一首を和室でしてみませんか。またゆっくり読書したい、短歌や俳句を詠む時間にするなども可能です。さまざまな活用方法がある和室を、ご利用ください。利用のための予約やルール、料金は、2階受付までおたずねください。

今回の活用ポイント

- ◎利用料が安い！午前中は200円から
- ◎空いていれば、すぐ使える！
- ◎少人数からの会議、活動利用に！



▲ 座卓と座布団も完備しています



▲ お茶用の水屋がある第1和室



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28~1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro





地域文化

わじろじまん

— 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介します —

三苦の農家を支えた「イチゴ」

かつては一面がイチゴ畑だった

農業が盛んな三苦校区周辺は、イチゴの名産地として知られています。今回は地域のイチゴに関わるお話を、お父さんの代から三苦でイチゴを作り続ける堺桂さんにお伺いしました。

そもそも三苦校区周辺は、稲作や養蚕と共にサツマイモ、ダイコンなど野菜を主に栽培する農業の土地でした。イチゴ栽培のきっかけは大正15年の夏、ある農家が青果市場にダイコンを出荷した時です。新宮町湊より分けてもらい育てた少量の木箱に入ったイチゴが、リヤカーいっぱいのダイコンより高値で売れたそうです。昭和4年には農業恐慌が起こり、三苦が主要農産品としていた稲作、養蚕も大きな価格下落に悩まされます。そんな時に高値で売れるイチゴが三苦の農業の「助け船」となり、三苦の畑は急速にイチゴ畑に変わりました。イチゴは地域の特産物となり、三苦の農家さんの大きな収入の支えとなりました。

戦時中は食糧の増産が叫ばれ、イチゴは栽培禁止になりました。しかし農家の「イチゴづくりを忘れない」という想いに支えられ戦後に復活、昭和30年頃には、三苦は再びイチゴの産地になり、視察団が毎日バスで訪れるほどにぎわいました。昭和52年頃から電照栽培を開始。夜は三苦の畑が明るくなり、その夜景は、飛行機から見たお客さんに「なんの明かり？」と噂になり、新聞にも載るほどでした。この電照栽培の技術の向上により真冬の出荷が可能となり、クリスマスなど、季節を飾るケーキの顔となりました。また空輸による関西などへの出荷も可能になり、三苦のイチゴは有名になっていきました。



この人に聞きました！

堺 桂さん

イチゴ農家

この地に、じまんのイチゴを残したい

作物を育てて行く上で農家は、病害や天災などに常に悩まされます。そのため、もっと強くおいしい品種へと、「興津4号」「宝交早生」「堀田ワンダー」など、イチゴも変化を続けます。福岡でも「はるのか」「とよのか」「あまおう」と数々の有名なイチゴの品種が生まれました。今や「あまおう」の名前は、日本を代表するブランドです。三苦でも現在「あまおう」がつくられており、日々全国の皆さんに、「おいしさ」をお届けしています。

少しでも良いイチゴをつくるため、以前は良い技術、良い苗を求め、他府県に学びに行っていた三苦の農家。いつしか努力が実り、三苦の地へ他府県より技術を学びに視察が来るまでになっていま

た。しかし、その最盛期に60件近くあったイチゴ農家の現在では5～6件にまで減り、後継者不足も深刻です。堺さんは最後に、『イチゴを育てる技術自体は別の土地に残るかもしれないけど、これからもこの地に、「三苦ならではのイチゴ」を残したいです。』と、将来に引き継ぎたい想いを語ってくれました。



▲エリアマップ



①② 三苦のイチゴ(あまおう)最盛期は1家の農家さんで1日1,200箱以上を出荷するほどだった。季節的にはこれからが旬。③ 三苦公民館から見えるイチゴの苗。④ 堺さんのお父さん、堺泰作さんが著者で出版した、三苦のイチゴ、農業に関する貴重な資料本「三苦の母と農業の推移」(昭和58年)



地域団体

わじろ元気印

— この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

バレーボールチーム「オレンジ」

—何よりも「楽しむこと」が大事。

コミセンわじろ体育館や福岡市東体育館を中心に活動するバレーボールサークル「オレンジ」さん。メンバーの平均年齢はなんと70歳！それを全く感じさせない元気いっぱいの活動の秘訣を、団体の高橋さんに伺いました。

—活動をはじめたきっかけは？

団体自体は12年前に、ソフトバレーボールのサークルとして始まりました。9年前に通常のバレーを指導していた先生が加わり、バレーボールサークルとなって今に至ります。現在は東体育館も含めて、週に2回のペースで練習をしています。オレンジという名前の由来は、東区は夕日が綺麗なエリアだから、みんなスポーツをしてキラキラしているからです。

—団体の活動について。

参加メンバーは、平均年齢は70歳を超えるんですが、みんな純粋にバレーボールを楽しんでいます。ほとんどのメンバーは、学生時代からバレーをやっていたわけではなく、子育てが一段落したころにバレーボールを始めた、初心者だった人が多いです。私たちがチームとして大事にしていることは、何よりも「楽し



む」こと。もちろん練習は真剣ですし、先生の指導も厳しいんですけども。九州大会に出場することを目標にみんなで声を掛け合ってやっています。そして試合も大切ですけど、その度にみんなで観光したり、たくさんのおしゃべりをするなどの時間を過ごす、その機会をととても大事にしている、仲良しのサークルでもあるんです。

—今後の目標について。

メンバーのみんなで、90歳になってもバレーボールを楽しみたいです。体はいくつになっても変われる、何を始めるに

も遅いことはない。素人ばかりでも、70歳以上の選手が集まる全国大会に出場できるんです。それを証明します。

一緒に楽しみましょう。バレーボールをこれからやってみたい、始めたい方、ぜひいらしてください。初心者の方こそ、大歓迎です。



この人に聞きました！

高橋 文栄さん

バレーボールチーム「オレンジ」

※ 活動に興味がある方は、3F受付までお問い合わせください。



応援課だより

— 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

2Fと3F入口にあるデジタルサイネージ。コミセンわじろの本日の利用情報のほかにも、地域で活動する団体を毎月紹介しています。文化、スポーツ、環境、福祉の分野など、地域で活動する団体を紹

介しています。身近に行われている「参加してみたい」「気になる」団体の情報が見つかるかも？ぜひご覧ください。デジタルサイネージでは他にも校区の情報、生活の情報などを掲載しています。

応援課へのご相談や
お問い合わせはコチラまで

☎ 092-608-8480

✉ support@wajiro.info

相談員・スタッフが対応いたします。
日程調整から、お気軽にお電話ください。
応援課情報も載っているFacebook!
<https://www.facebook.com/komisenwajiro>
チェックよろしくお願いたします！